

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 5 年度学校評価 計画

学校名	鳥栖市立鳥栖小学校		
1 前年度 評価結果の概要	・校内研究で取り組んでいる「つなぐタイム（考えを出し合う・意見交流を行う）」を教員が共通理解・共通実践することで、児童の学力向上につながってきている。今年度も、児童が目的をもって主体的に「つなぐタイム」に取り組むような手立てを考え、児童の学力向上をめざす。 ・学校運営協議会発足時から取り組んできたプロジェクトは順調に遂行することができている。今年度も、学校と地域がさらに「つながる」ために、積極的に地域の「人」や「もの」から学びを深めていくことで児童の郷土に対する思いや誇りを高める。 ・昨年度は、校時を変更することで、児童も教職員も比較的余裕をもって放課後を過ごすことができた。今年度は、さらに業務改善（成績2期制等）を進め、教職員の時間と心の余裕を生み出し、授業づくり等の「教師本来の業務」に専念できるような体制を整える。		
2 学校教育目標	心豊かで、たくましく、自ら学ぶ “とすっ子”の育成 ～合言葉『つなぐ』～ ◎やさしいつばい ・相手の気持ちを考えて行動できる子 ・社会や地域に目を向け、多様性を認め、人や自然を大切にできる子 ○元気いつばい ・仲間と共に健康安全に気をつけ、体を鍛えることができる子 ・よいことを進んで行い、きまりやマナーを守ることができる子 ○やる気いつばい ・進んで学ぶことができる子 ・仲間と話し合い、考えを認め合い、根気強く解決できる子		
3 本年度の重点目標	①児童が安心して安全に生活でき、学力向上を図る学校づくり ②開かれた学校づくりの推進（学校運営協議会） ③教職員の資質向上の推進（授業力、生徒指導力） ④業務改善・働き方改革の推進		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●教員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教員90％以上	・教員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。
	○基本的な学習習慣の定着と家庭学習の質・量の向上	○学年に応じた家庭学習時間を達成している児童の割合75％以上 ○自主学習に取り組む児童の割合80％以上	・家庭教育の手引きを発行し、家庭学習に対する意識の向上を図る。 ・発達段階に応じた自主学習に取り組ませ、主体的に学ぶ児童の育成を図る。
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳を通し、優しさに関するアンケートを実施し、「相手を思いやり、優しく接するよう心掛けることができた」児童80％以上を目指す。	・保護者の方に道徳科(8人との関わりに関すること)の授業を学年部で公開する。(ふれあい道徳) ・とすっ子掲示板に定期的に取り組み、児童の心を豊かにしていく。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)についての組織的対応ができていると回答する職員が100％になることを目指す	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを確認・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・資料提供を年間に3回以上行う。 ・いじめ事案について学校全体で情報を共有する。
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80％以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80％以上	・自学や教室掲示など、個々の児童の良さを評価できる場を積極的に設ける。 ・キャリアパスポートを活用し、自己理解を深めさせ、自己実現への意欲を高めていく。
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60％以上 ②「健康に良い食事をしている」児童85％以上	①年間2回、全学年でクラスマッチを開催し、練習を通して運動時間を確保する。学級の児童全員で外遊びをする「みんなで遊ぶ日」を1週間に1回以上行うことを推奨する。 ③栄養教諭と学級担任とのTT授業を行い「健康に良い食事の仕方や内容」を認識させる。食育だよりや給食時の放送を通して、児童・保護者への啓発を図る。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・成績2期制を有効に活用し、放課後等の業務を効率的に行うことで、昨年度より時間外在校時間を減らす。 ・曜日の施設時刻を設定し、教職員一人一人の意識を職場全体に繋げる。(金曜日は原則として定時退勤)
	○衛生・安全管理の改善・充実	○職場における事故0を目指す。	・定期的に職員室等の整理整頓と環境美化の時間を設定する。 ・ラインケア、セルフケアの両面から教職員のメンタルヘルス対策を行う。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			・ラインケア、セルフケアの両面から職員のメンタルヘルス対策を行う。
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80％以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80％以上	・保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開を全学級で年間1回以上行う。 ・保護者等に対する教科「日本語」に係る情報(学年便り、学級通信など)を年間3回以上全学級が行う。
○特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制 ○研修会開催 ○関係機関との連携	○個別の支援計画及び指導計画の作成と学期毎の振り返り、改善等(100%) ○特別支援教育に関する研修(子供支援会議月1回、校内研修会年5回)	・個別の支援計画及び指導計画を作成し、個に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・支援が必要な児童については全教職員で共通理解を図るとともに、支援体制を整えて指導・支援を行う。計画的に校内研修会を開き、特別支援教育に関する理解と専門性を高める。
○開かれた学校づくり	○学校運営協議会の取組の推進	○コミュニティ・スクールのよさを生かし、学校が地域やPTAと連携し、学習支援・行事体験・環境整備・地域安全の確保を行っていると感じた教員・保護者・学校運営協議会委員の回答率85％以上	・学校行事等の積極的な協力依頼(生活科・総合的な学習等の学習支援) ・地域見守り隊による登下校の安全確保 ・学習環境整備の支援 ・活動についての情報公開(コミュニティ便り、HP、メール配信等)
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・		